

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 3 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	去年度もなかなか運営推進会議が開催できず、今年度はと計画したが、年4回の開催は出来なかった。内容決定の難しさや、地域の方の参加を継続して呼びかける難しさもあった。しかし、毎月、地域の方と行っているカラオケの機会を活かしたい。	年間の計画を立てながら、各季節ごとの定期的な開催をしていく。内容については、町内の交流や関心毎を考えながら、防災での協力を含めて、継続的な事をかんがえていく。	色々な事に挑戦するのではなく、カラオケの日を中心に、地域との交流や今年度取り組んできた防災の事等を継続して考えていく。地域のお年寄りと楽しめる企画を検討していく。スタッフの中から、担当者を決めていく。	6ヶ月
2	6	身体拘束は出来るだけしない方向で行っているが、認知症が進行する中で、不潔行為も増えている。短時間で出来るだけ不安なく出来る方法を考えて、スタッフ間で協力しながら介護していきたい。	身体拘束がゼロには難しいが、その時々でいろいろな方法を検討しながら、変化をみんなで共有し、安全面や清潔面に配慮しながら、最善な方法を見つけない。	ケアプランを作成時に家族の同意をとりながら、必要最小限で行えるように、色々な方向から検討していきたい。また、絶えず評価しながら、スタッフ全員で考えていく。	6ヶ月
3	12	最後の時をホームで過ごすことが多くなり、看取りの意味や、医療との連携、最後の生活の質のあり方、家族との連携などが大きな課題としてあると思う。長期間になるほど、問題が出てくるため、今後スタッフ間の連携も含めて考えていきたい。	出来るだけ、家族と過ごせる時間を作りながら、ホームで、苦痛が少なく、穏やかな時を過ごせることを目標にしていきたい。	高齢の方が増える中で、避けられない問題なため、一人一人に合った生活、介護の方法、苦痛の少ない毎日を、スタッフで話し合いながら考えていきたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。